



うちなだのボランティアだより

ね お

合歡の木

平成20年 3 月・No. 39

発行 内灘町ボランティアセンター

TEL 076(286)6953

<http://www2.spacelan.ne.jp/~uchisyakyo/>



ボランティアの広場



「額の汗に充実の歓び」

内灘町教育長

西尾 雄次



「人間は欲に手足の付いたるものぞかし」とは、井原西鶴の名言だが、“損か得か”を考えるのは人間の行動を左右する大きな判断基準であるのはいつの時代も同じようである。しかし、“快か不快か”の感情は“損か得か”の判断が出来るようになる以前に動物としての人間が本源的に持っている行動基準のようである。

私の二人の孫の様子を見ていると、一歳の下の子は母親に抱き上げられると嬉しそうに微笑むし、オムツが濡れると不快そうな表情をする。まだ生まれて一年にしかないこの子の行動を律しているのは“快か不快か”のようである。ところが、4歳になる兄の方は、妹の歩行器を自動車代わりにして乗り込み、なかなかそれを妹に返そうとしないやんちゃざかりである。妹に返しなさいなどと言っても一向に聞く耳を持たない。そんなときに、私が「それじゃ〇〇ちゃんの大きい自動車は△△ちゃんにあげようかな」と言うと、ふっと彼の行動は止まり、ちょっと考えて急いで歩行器を降りてそれを妹に返すのである。このとき彼は一瞬にして“損か得か”の判断をしたのである。

ボランティアは、自発性・社会性・無償性・創造性という4つの要素をその定義の基準としてきたが、有償ボランティアの存在からその定義については今なお論争が絶えないようである。とりわけ、東京都稲城市の介護支援ボランティア制度の発足は、そのボランティア論争を再燃させた感じである。論争のその後の経過は知らないがお金が絡むことは人間の原初的な感情に関わることなのでそう簡単には決着は着かないのかもしれない。

「自負心」という言葉がある。人間が自律的に生きる上で欠くことのできない心の様相を表しているようで自負心は私の好きな言葉の一つである。広辞苑によれば、自負とは「自分の才能や仕事に自信や誇りを持つこと」とある。ところで、私がこの言葉を最も深く感じるのは、ボランティア活動をして額に汗するときである。自分にはこの重い荷を持ち上げることができる手があり、それを運ぶことができる丈夫な足がある。とそう思うとき“損か得か”の考えは全く消え失せて、ただ快感がもたらしてくれる歓びだけが心を充たすのである。

(西尾さんは「内灘花の会」会員です)

内灘砂丘

～守りながら活かす!!～

『気持ちがいいね』

私たちは、モーターパラグライダーとラジコングライダーの2グループで金沢・内灘境の浜で楽しんでいます、総勢25人ほどで40～60歳台の人が中心です。

春になると芝が芽吹きますので年3回ほど肥料を施しています、最盛期にはグリーンが目にも痛いほど生き生きとします。

周辺ではバーベキューが盛んに行われますが始末しないグループもあります、それらの始末や周辺のごみ拾いをおこなうと共に年数回行われるクリーンビーチ内灘作戦の清掃活動にも参加しています。

浜は公共の場所ですので安全に、他の人に迷惑をかけないように、心をかけています。綺麗になった海岸の上空を飛ぶのはとても気持ちがいいものです。

感謝

チームチャレンジ内灘&チーム内灘
大能 義寛



『海岸ゴミの実態を知って欲しい!』

「サーファーズ」は金沢医科大学学生クラブ活動で、サーフィン同好会です。現在、1学年から6学年まで14名が活動しています。海岸清掃は10年前に同好会開始と同時に自主的に始めました。各学年のテスト期間などを調節しながらなので不定期ですが、月1～2回早朝に集まってゴミ拾いをします。他にもサーフィンをする時に気づいたゴミは拾っています。「砂浜をはだして歩くので危険ですから」「僕たちだけじゃなく他のサーファーもやってますから内灘の浜はそんなに汚くないですよ」まったく気負いが無い。でも2月15日大浜海岸で行われた清掃に同行して驚きました。この

冬1番の雪が積もった朝でした。こんな日にゴミ拾いができるのかと半信半疑で行って見ると「大丈夫ですよ、ゴミはいっぱいありますから」。本当に波うち際から7、8メートルは雪がなくゴミが散乱していました。プラスチックゴミ、お菓子の袋、ビニール袋、ヒモ、ザル・・・拾っても拾ってもあります。「雪の下にはまだいっぱいありますよ。この実態は知ってほしいですね」この大浜海岸は内灘海岸から少ししか離れていませんが目の前に防波堤がありゴミが集まりやすいそうです。でもさすがサーファー、荒波も寒さも気にせずゴミを集めていきます。あちこちでぽい捨てのゴミが目につきますが彼等のようにさりげなく掃除をしている若者もいるのです。



▲右が大能さん



▲海岸に打ち寄せるゴミ

『内灘砂丘の復元を夢見て』

学校の運動場のような、平面的な内灘砂丘を見て、皆さん、日本三大砂丘の一つと言われてどう感じますか？昔、30～40年前の内灘砂丘は、3mから5mぐらいの長く小高い砂丘が10kmも続き、ウサギやキツネ等が住み、ハマヒルガオ、ハマゴウが咲き、黒松林が連なり、それこそ見事な砂丘でありました。懐かしい思いが走ります。

50mの高さの鳥取砂丘まででなくても写真のような小高く長い美しい内灘砂丘のため静砂垣を造るボランティアの仲間を募っております。

みんなで内灘砂丘の復元を目指しましょう！

クリーンビーチ内灘作戦
代表 野村 輝久



◀撮影は
野村輝久さん

サーファーズキャプテン
野田昌臣さんに聞きました。



▲ホームグラウンドは内灘海岸



“こんな人 みい～つけた！”

～ねむの木レポート～



「顔と顔を合わせることから」 上野さん（西荒屋）

上野雅子さんは公民館の書道教室などで指導する傍ら、老人施設や国際交流ラウンジなどでもボランティアとして書道を教えています。内灘中学校図書館ボランティアや声のボランティアなど他の活動にも積極的に参加されています。様々なボランティアに関わるようになったのはなぜ？と聞いてみると「やはり書道から広がった。子どもたちに向き合うには本音で付き合う。弱いところも隠さずに、子どもたちの噴き出るエネルギーに本気でぶつかり合わない」とそんな子どもたちに、中学生になっても地域の大人が気持ちを開いて声をかけることが大事と、図書ボランティアにも参加されるようになったそうです。

書道で訪れる“デイサービスセンター内灘の風”では、始めの内「じょうずに書けない」「へたやから」と後込みしていた方々が積極的になり、個性的で味のある字を書かれ、こんな書き方もあるんだなあとは勉強になると共に、それぞれの人生の深さを感じ、貰うものが多いとあります。

自分のできることを一つずつ重ねていく中で「顔を合わせることの大切さ」を実感するという上野さん。

「地域の活動でも自分から1軒ずつ言葉をかけて廻ることが大事。まずは挨拶を交わし、きっかけを作ることから始めないと。今、このことの大切さを若い人たちにも分かってもらえれば・・・」

とても思いのこもった言葉に、私たち皆が受け止めなければならぬのだと感じました。（長尾 記）



“ここは思いきって”
～国際交流ラウンジで～

「おとうさんおかえりなさい」 潟渕さん（大根布）

昨年11月17日に開催された講習会「“自由人”お父さんおかえりなさい」に参加された潟渕登さんに話を伺いました。まだひと仕事もふた仕事もできるんじゃないですかと聞いたほど若い潟渕さんですが、25年という長い単身赴任で、地域とのつながりが薄く、家族との会話にもやや隔たりがあることに気づき、すっぱりと退職することにしたそうです。

会社との関係がすっかりきれないこの1年を猶予期間と考えて、夫婦でなにができるか、これから何をやるか探りながら、庭作りや料理の講習会などを受けている中、奥様に背中を押されてこのボランティア講習会に参加しました。ボランティア経験はなかったのですが、ボランティアを特別のものとせず、まずは自分の持っている特技や趣味の延長と考えればいいと聞き（たとえば、日曜大工が好きであれば、足台を作るなど）それならなにか出来るかも知れないと考えるようになったそうです。事故があった際の精神的負担などの不安が消えたわけではありませんが、さっそく不足している運転ボランティアに仮登録し、この4月から本格的に始動します。また自宅に誰もが気楽に集まれるサロンを開いたらどうだろう、同じように退職する同級生と何かできないだろうかと地域との繋がりも模索しているところです。拝見したところ、庭作りも日曜大工で作られたという小屋も玄人はだし、やりたいことがたくさんあるご様子の潟渕さん。どのような人生設計ができあがるのでしょうか。（安田 記）



これからは二人で・・・？

※今回は下記の4つのサロンを紹介します。

ひろがる輪

「アカシア」
アカシア

「『文字あそび』って
なんや？」

「あらー これ
おもしろいね」

「もう1回 しよう!!」



いつも以上に盛り上がり、童
心にかえり何回もアンコール。

「鶴東」
鶴ヶ丘東

目の前の
かるたも
取れんね！



目がいいね！

いっぱい取れた！

「お食事会&ゲームを楽しもう」
いろはがたやトランプで笑いが
いっぱい。
「げいはみをたすけ！」
「すいはみをくう」
など面白い！

「お茶の間」
向栗崎



老人会の友達に誘われ
て初めて参加しました。

沢山の人が参加されてい
たので、びっくりしました。

(60名)

正直、いきいきサロンについ
ては、何をするとおもしろいのかよく分
かっていませんでした。

新年会で、弁当を食べながらカラオケ
をしました。カラオケは、恥ずかしくて
歌えませんでした。グループで「木」
が付く漢字を考え言い合うゲームは、
盛り上がり楽しかったです。

次回も機会があったら参加してみたいです。

「いきいきサロン」って!?

1月30日「ふれあい いきい
きサロン研修会」がありました。
講演の後、町内9地区のサロン報告
会があり、事務局からもいきいきサ
ロンの在り方として「独り暮らしの
方や高齢者世帯の方も町内方々との
交流を持つことで、いきいきとし
た社会参加を促すことが大きな
目的である」とのお話な
どありました。

「“笑い”それは、不老
長寿の特効薬」と明福愛
子先生の話聞いた
後、綾小路きみまろさ
んのビデオを観て、更
に笑いっぱいのひと
時でした。

「あさひ」
旭ヶ丘



笑いは、
長生きの元です。

笑いは、
気持ちが癒されます。

笑いは、
周りを幸せにします。

募集します

◇一緒に植えましょう

権現森に桜の植樹をします！

日時 3月20日(木・春分の日)
午前8時半～

集合場所 権現森海水浴場入口道路

問合せ 内灘花の会・小泉

Tel.286-5105まで

◇模擬患者募集しています

ボランティアで医学生相手の模擬患者を
務めてくださる方を募集しています。

授業の中で問診の相手をして気づいたこ
と、感じたことをアドバイスします。

連絡先 Tel. 286-2211内線7552 中新

公演しました

◇人形劇サークル「らくだ」

2月17日(日)「らくだ」と内灘中
学演劇部との合同公演がありました。
家族連れの他にも世代が広
がって約250人が観賞し、楽しみ
ました。

ほほえみ

(編集後記)



店先に能登産のふきのとうが並びました。ふきのとう
を食べたら「春が来た」と感じます。ふきのとうに
雄株と雌株があるのを最近知りました。そういえば、
土から出たばかりなのに“なぜ”固いつぼみと少し開
きかけんがあるんだろうとふしぎに思っていました。
雌花と雄花だったんですね。(安田 記)

各ボランティア活動への参加、
行事への参加のお問合せ、
お申し込みは内灘町ボラン
ティアセンターまで(保健セン
ター内)

TEL 076 (286) 6953